

10 月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	大矢	参加 メンバー	CL 大矢(単独)
		報告日	10/8		
山域	奥地秩父	山行日	2020.9.30(水)-10.02(金)		
山名	甲武信ヶ岳・荒船山				
山行目的	19年台風19号で大雨になった現地地形検証		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当

## ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

9/30 ○  
名古屋から現地入り  
碓氷峠見晴台

10/1 ◎  
6:45 毛木平 発  
6:55 十字峠分岐  
7:30 慰霊碑  
7:40-45 休憩  
8:35 ナメ滝  
8:40-45 休憩  
9:40-45 休憩 5°C  
10:22 稜線  
10:40-45 休憩 3°C  
10:55 甲武信ヶ岳 6°C  
11:05 発  
12:00-05 休憩 4°C  
13:00-05 休憩  
14:00-05 休憩  
14:45 毛木平着

10/2 ○  
7:47 内山峠発 6°C  
8:27-32 休憩 8°C 晴  
9:25 鱸岩展望台  
10:05-10 荒船山 10°C  
10:53-58 鱸岩西端 11°C  
11:55-12:00 休憩  
12:20 内山峠着 16°C

## 〈山行報告〉

【9/30】今回の山行の目的は、2019年台風19号によって氾濫を起こした千曲川流域の原因調査のため現地の地形を把握することである。今回の調査が10/30の気象学会での発表の裏付けとなる。初日は茅野駅でレンタカーを借りて、碓氷峠見晴台から奥地秩父を含む関東山地の地形把握。

【10/1】野辺山の民宿を拠点として、2日目は甲武信ヶ岳。千曲川源流を遡るのが最短ルートであり、今回の目的にもなっている。民宿から登山口の毛木平まで移動する間は予想通り小雨が降っていたが、毛木平を出発する頃には雨は止んでいた。南岸低気圧による雨の範囲の予想は難しいし、トラフ(上空の気圧の谷)の影響も小さかったようだ。2019年台風19号の影響か、登山道が崩壊して巻き道ができている箇所が数か所あって、コースタイム以上に時間が掛かった末に千曲川源頭に辿り着いた。こんな小さな湧き水が大きな川となり、時には氾濫を起こす。自然の猛威は恐ろしい。最後の100mくらいのザレ場を登ると甲武信ヶ岳山頂。天気の様子見て遅めに出発したこともあって、時間的に苦しいため、十文字峠には向かわずに来た道を下山。

【10/2】千曲川氾濫時は内山峠付近を大量の雨雲が通過した。やはり登山道は当時の大雨のため一部崩壊している箇所がある。2009年にクレヨンしんちゃんの作家が転落死した鱸岩だけでなく、稜線の東側や北側は絶壁なので、慎重に歩を進める。一番ヤバいと感じたのは、内山峠から30分ぐらい登ったところの登りで、崩壊したため東側が切れ落ちている。鱸岩の登りも急で梯子やロープが設置されているが、危ない側ではないので問題なし。鱸岩の展望台は期待通りの眺望が得られ目的達成。鱸岩から荒船山最高点の経塚山は楽しい散策コース。下りは来た道に戻る。

## 〈リーダー所見〉

昨年9月の安達太良山に続いて復帰後、まだ2回目の山行なので無理をしないように気を付けた。これまで八ヶ岳や南アルプスから眺めていただけの奥秩父の山に登るのは今回が初めてであるが、また違った味わいがある。また機会があったら行ってみたいと思う。

確認  
(リーダー)  
大矢  
20/10/02  
作成  
(報告者)  
大矢  
20/10/02

碓氷峠見晴台から奥秩父方面を望む



ついでに佐久市の柳田市長を表敬訪問



甲武信ヶ岳には千曲川の源頭がある



甲武信ヶ岳の山頂



荒船山の鱸岩展望台から浅間山方面を望むパノラマ写真

